

5 ('14 横浜国立大)

【難易度】…標準

O を原点とする座標空間に 4 点

$$A(-2, 1, 3), \quad B(s, 3, -1), \quad C(1, 3, 4), \quad D(t, 2t, 2t)$$

がある。ただし, s, t は実数で $t \neq 0$ である。A を通り \overrightarrow{OC} に平行な直線と, B を通り \overrightarrow{OD} に平行な直線が点 P で交わるとする。次の問いに答えよ。

(1) s の値および P の座標を求めよ。以下では, $\triangle PAB \sim \triangle OCD$ を仮定する。(2) t の値を求めよ。

(3) D から平面 PAB に下ろした垂線を DH とするとき, H の座標を求めよ。

【テーマ】: 空間ベクトルと直線の方程式

方針

(1) は, 2 つのベクトル方程式を考えてその交点を求めます。(2) は, 相似である条件を利用して t の値を定め, (3) は, 4 点が同一平面上にあることと内積を利用して求めます。

解答

(1) 点 A を通り \overrightarrow{OC} に平行な直線を m とし, 直線 m 上の任意の点を X とする。また, 点 B を通り \overrightarrow{OD} に平行な直線を n とし, 直線 n 上の任意の点を Y とする。このとき, 直線 m, n の方程式は, それぞれ

$$\text{直線 } m : \overrightarrow{OX} = \overrightarrow{OA} + k(1, 3, 4) \quad \cdots \cdots \text{ ①}$$

$$\text{直線 } n : \overrightarrow{OY} = \overrightarrow{OB} + l(1, 2, 2) \quad \cdots \cdots \text{ ②}$$

となるので, それぞれを成分で表すと次のようになる。

$$\overrightarrow{OX} = (-2, 1, 3) + k(1, 3, 4) = (k-2, 3k+1, 4k+3)$$

$$\overrightarrow{OY} = (s, 3, -1) + l(1, 2, 2) = (l+s, 2l+3, 2l-1)$$

直線 m, n が交わる時, $\overrightarrow{OX} = \overrightarrow{OY}$ である場合を考えればよいので,

$$\begin{cases} k-2 = l+s \\ 3k+1 = 2l+3 \\ 4k+3 = 2l-1 \end{cases}$$

となり, これを解いて, $k = -6, l = -10, s = 2$ を得る。このとき, $X = Y = P$ であるから, 求める点 P の座標と s の値は,

$$P(-8, -17, -21), \quad s = 2 \cdots \cdots (\text{答})$$

(2) (1) より, $X = Y = P$ として, ①, ② の式を変形すると,

$$\overrightarrow{AP} = -6(1, 3, 4) \qquad \overrightarrow{BP} = -10(1, 2, 2)$$

$$= -6\overrightarrow{OC} \qquad = \frac{-10}{t}\overrightarrow{OD}$$

$$\overrightarrow{PA} = 6\overrightarrow{OC} \qquad \overrightarrow{PB} = \frac{10}{t}\overrightarrow{OD}$$

となる. $\triangle PAB \sim \triangle OCD$ であることから, 相似比は $6:1$ となるので,

$$6 = \frac{10}{t} \iff t = \frac{5}{3} \dots\dots(\text{答})$$

(3) 点 H は平面 PAB 上の点であり, $\vec{PA} \parallel (1, 3, 4)$, $\vec{PB} \parallel (1, 2, 2)$ であることから,

$$\vec{PH} = x(1, 3, 4) + y(1, 2, 2) \iff \vec{DH} - \vec{DP} = x(1, 3, 4) + y(1, 2, 2)$$

$$\begin{aligned} \vec{DH} &= \vec{DP} + x(1, 3, 4) + y(1, 2, 2) \\ &= \left(-\frac{29}{3}, -\frac{61}{3}, -\frac{73}{3}\right) + x(1, 3, 4) + y(1, 2, 2) \\ &= \left(x + y - \frac{29}{3}, 3x + 2y - \frac{61}{3}, 4x + 2y - \frac{73}{3}\right) \end{aligned}$$

$\vec{DH} \perp \vec{OC}$, $\vec{DH} \perp \vec{OD}$ であることから,

$$\vec{DH} \cdot \vec{OC} = 0 \iff \vec{DH} \cdot (1, 3, 4) = 0 \iff 26x + 15y - 168 = 0 \dots\dots \textcircled{1}$$

$$\vec{DH} \cdot \vec{OD} = 0 \iff \vec{DH} \cdot (1, 2, 2) = 0 \iff 15x + 9y - 99 = 0 \dots\dots \textcircled{2}$$

①, ② より, これを解いて, $x = 3$, $y = 6$ を得る. よって,

$$\begin{aligned} \vec{OH} &= \vec{OP} + \vec{PH} \\ &= (-8, -17, -21) + 3(1, 3, 4) + 6(1, 2, 2) \\ &= (1, 4, 3) \end{aligned}$$

ゆえに, 求める点 H の座標は, $H(1, 4, 3) \dots\dots(\text{答})$



解説

空間内で 2 直線が交わるときを考えるので, ベクトル方程式を利用します. 解答にあるように \vec{OX} , \vec{OY} を成分で表して, 交点になるときは, $\vec{OX} = \vec{OY}$ となることを利用します. (2) 以降は, $\triangle PAB \sim \triangle OCD$ を仮定するとあるので, これを利用します. 相似比を利用して t の値を求めればよいことになります. ④, ⑤ から $\vec{PA} = 6\vec{OC}$, $\vec{PB} = \frac{10}{t}\vec{OD}$ という関係を導き出せれば相似比がわかります. (3) は, 典型的な問題です. 4 点 H, P, A, B が同一平面上にあるときは, $\vec{PH} = x\vec{PA} + u\vec{PB}$ という関係が成り立つので, これと $\vec{DH} \perp \vec{OC}$, $\vec{DH} \perp \vec{OD}$ を利用して点 H の座標を求めます.